

あおり介護生産性向上相談センター事業実施状況（令和7年11月末現在）

介護現場における生産性向上の取組を推進し、サービスの質の向上や働きやすい職場環境づくりを支援する各種事業を実施している。

1 主な事業

- (1) 相談
- (2) 介護テクノロジーの展示（常設展示〈県内1か所〉、巡回展示〈県内5圏域〉）
- (3) 介護テクノロジートライアル（試用貸出）
- (4) セミナー等の開催
- (5) 伴走支援
- (6) 介護テクノロジー定着支援事業費補助 申請及び報告書のとりまとめ

2 実施状況

(1) 相談

生産性向上に関する各種相談に、来所・オンライン・電話等で相談に応じている。

【相談件数 283件】

《主な相談内容の内訳（複数選択有）》単位：件

介護テクノロジー導入・活用・評価	46
貸出・デモなど	27
生産性向上の具体的手法	11
生産性向上の情報収集	5
職員の意識の変化	4
人材確保・経営改善	1
補助金関連	243



(2) 介護テクノロジーの展示

1) 常設展示

県民福祉プラザ3階に、移乗・移動・排泄・見守り・コミュニケーション・介護業務支援（介護ソフト等）・機能訓練支援等の介護テクノロジー約35点を展示している。

【来場者数 109人】



2) 巡回展示

県内5地区で「生産性向上の取組み応援セミナー」を併催した介護テクノロジー展を開催した。

① 地区および来場者数等

実施月	開催地区	来場者数	展示品数
7月	弘前市	69	34
9月	十和田市	78	34
10月	むつ市	41	33
11月	五所川原市	60	28
合計		248人	



② 併催セミナー

ア) あおもり介護生産性向上相談センター事業紹介

イ) 講演「生産性向上取組みのポイント」講師：(株) TRAPE 鎌田 大啓 氏

ウ) ディスカッション

「3つのICT機器（見守り・介護ソフト・インカム）の選定&効果的な活用」

(3) 介護テクノロジートライアル（試用貸出）

介護事業所の課題に合った介護テクノロジーの導入を目的として厚生労働省が作成する試用貸出リストを基に、貸出の取次ぎを行っている。

【貸出件数 28件】

《貸出し分野内訳》単位：件

移乗支援	10
排泄支援	3
見守り・コミュニケーション	13
入浴支援	1
食事・栄養管理支援	1

(4) 各種セミナー開催

1) 令和7年度あおもり介護生産性向上推進セミナー

期 日：令和7年6月16日(月)

会 場：ウェディングプラザアラスカ(青森市)及びオンデマンド配信

参加者：163人(うち24人オンデマンド視聴)

2) 介護生産性向上の取組を進めるための支援セミナーin あおもり

期 日：令和7年11月27日(木)

会 場：ウェディングプラザアラスカ(青森市)

参加者：64人

**令和7年度
あおもり介護生産性向上
推進セミナー**

介護分野における生産性向上は、介護テクノロジー(介護ロボット・ICT)の導入などを通して業務を効率化し、「働きやすい職場づくり」「介護の質の向上」を目指す取組みです。
本セミナーでは、生産性向上に関する最新の政策や具体的な取組のポイント、先事例などをご紹介し、介護事業所の業務に取組みの一歩を進めていただくことを目的としています。

令和7年
6月16日(月)
12:50~16:50

会場 ウェディングプラザアラスカ 地下1階サファイア
(青森市新町1丁目11-22)

対象 介護事業所管理者・職員等 **100名程度**

参加費 **無料**

当センターHP
(<https://aoyakyu.jp>)
あるいは二次元コード
よりお申込みください。

申込締切 **令和7年6月2日(月)**

お問い合わせ
あおもり介護生産性向上相談センター
TEL **017-777-0012**

*ご参加いただけない場合のみ、事務局よりご連絡申し上げます。

講師紹介
鎌田 大啓 氏
株式会社TRAPE
代表取締役

厚生労働省「生産性向上ガイドライン」の作成に深くかかわり、要約版より介護現場の業務改善を支援した多くの実績がある。あおもり介護生産性向上相談センターのアドバイザーとして、令和5年度、6年度青森県介護生産性向上モデル事業の伴走支援にも携わる。

主 催 社会福祉法人青森県社会福祉協議会 あおもり介護生産性向上相談センター

R7

**介護生産性向上の
取組を進めるための
支援セミナー**
in あおもり

高齢化や人口減少を背景に介護分野の人材不足が深刻となる中で、業務を効率化することにより質の高い介護ケアを提供し続け、働きやすい職場づくりを進める生産性向上(業務改善)の取組の必要性が一段高まっています。
本セミナーでは、生産性向上のガイドラインに沿った進め方について、具体的に分かりやすく解説するほか、現場課題の整理の仕方を体験いただくミニワークも行います。このほか、先進的な取組事例のご紹介や生産性向上の有効な手段となる介護テクノロジーの展示体験も併催します。
皆様に取組の一歩を進めていただくためのセミナーです。ご参加をお待ちしています。

開催要項

日時 **令和7年
11月27日(木)**
12:00~16:50

会場 **ウェディングプラザアラスカ
地下1階サファイア**
(青森市新町1丁目11-22)

対象 介護事業所管理者・職員等 **60名程度**
ミニワークを行いますので、可能な限り1層層所定人数以上で参加してください。

参加費 **無料**

申込先 当センターHP(<https://aoyakyu.jp>)あるいは二次元コードよりお申込みください。

申込締切 **令和7年11月7日(金)**

*ご参加いただけない場合のみ、事務局よりご連絡申し上げます。

(5) 伴走支援について

青森県モデル事業所に対し、業務改善の取組を通じて得たノウハウや経験、成果を他事業所の参考としてもらうこと等を目的に伴走支援を行っている。

【テーマ】

「介護テクノロジーを活用して業務改善を目指す」

【モデル事業所】

社会福祉法人貴望会 特別養護老人ホームなのはな苑

(上北郡横浜町)

社会福祉法人もみじ会 デイサービスセンターにこにこプラザ六戸

(上北郡六戸町)

社会福祉法人徳望会 見心園居宅サービスセンター

(三戸郡階上町)

【実施概要】

時 期	内 容
8 月	○当センター及びアドバイザーによる初回訪問 ・事業概要説明 ・現場の課題感聞き取り ・施設見学及びテクノロジー活用状況等確認
	【キックオフ】 ○各事業所においてキックオフ宣言
9 月	【課題の見える化】 ○課題抽出のために全職員対象のアンケートを実施 ○より具体的な課題に絞っていくため、プロジェクトリーダーと現場職員が対話を重ねる ○アドバイザーとリーダーらで課題の優先順位を検討し、活用できるテクノロジーに目星を付ける
10 月	○課題のどの部分に改善をしていくかを決定 ○目星をつけた課題について深堀りを行う
11 月	○選んだ課題の業務及び1日の流れについて棚卸を行う ○業務全体の無理・無駄・ムラがないかを確認し、各業務にかかった時間を測定するため1週間程度のタイムスタディを行う
	【実行計画の立案】 ○業務棚卸やタイムスタディの結果を踏まえ、課題と解決方法、その目的を設定する。
12 月	○KPI（成果指標）を定め、前後比較をするためのアンケートを実施
	【改善活動に取り組む】 ○取組み開始

*成果報告会を令和8年3月3日（火）、ウェディングプラザアラスカ（青森市）で開催予定

(6) 介護テクノロジー定着支援事業費補助 申請及び報告書のとりまとめ

青森県が実施する補助事業について、当センターホームページにて周知し、申請書の受付を行った。

受付期間：令和7年7月28日（月）～9月5日（金）

受付件数：227件